

緑創

令和5年度 全国林業普及研修



全林研だより「緑創」の発行にあたって

全国林業研究グループ連絡協議会 会長 齋藤 正

We Love Forest!

皆さんこんにちは、全林研会長の齋藤正でございます。私たちの会誌『緑創53号』発刊にあたりご挨拶申し上げます。
皆様には、各地で頻発している

大きな地震や異常な気候災害、世界的な社会不安定の影響により、大変ご苦労を頂きながら林業を継続され、地域経済を下支えし、地域維持または地域振興にご尽力頂いております事に。深い敬意と感謝を申し上げます。

対する林業普及推進の為に、普及効率化と普及強化を目指しグループ化を行いました。
現在において、林業担い手の変化により林研の活動低迷が続いておりますが、その反面として近年のグループ発表の中にも出てきている優良事例として、グループの中に森林所有者だけでなく、林業事業者や木材業者、建築関係、ボランティア、お菓子屋さん、水産関係者などなど、多方面の方々に「林研」という組織の中に新たな仲間として迎え入れ、または新たに形成して、大きな成果を作り出してまいります。今回この誌面においても、このような取り組みをご紹介しておりますので是非参考にしてください。林研の活性化や地域創生の具現化に結びつけて頂きたいと思えます。

さて、去年より私たちの会誌である緑創を直接単位林研の会長さんにお届けを始めました。おかげさまで、各地より大きな好評を頂き、情報をお届けする事ができました。今後も全国の仲間に新鮮な情報を緑創やホームページ、YouTubeチャンネル、SNSなどを通じてお届けいたしますので是非ご活用下さい。

結びに、メンバーの皆様の益々のご活躍と、林業の活性化と地域振興！労働安全、世界平和の実現をご祈念いたしまして、挨拶いたします。

私たち林研の目指すものは、林業技術の向上や林業振興だけでなく『林業・木材業の振興を通じて』中山間地域の活性化を実現化していかなくてはなりません。そもそも林研の生い立ちは、林野庁と林業改良普及協会の指導協力を基に1960年4月に森林所有者や林業に従事している方々などに

対する林業普及推進の為に、普及効率化と普及強化を目指しグループ化を行いました。
現在において、林業担い手の変化により林研の活動低迷が続いておりますが、その反面として近年のグループ発表の中にも出てきている優良事例として、グループの中に森林所有者だけでなく、林業事業者や木材業者、建築関係、ボランティア、お菓子屋さん、水産関係者などなど、多方面の方々に「林研」という組織の中に新たな仲間として迎え入れ、または新たに形成して、大きな成果を作り出してまいります。今回この誌面においても、このような取り組みをご紹介しておりますので是非参考にしてください。林研の活性化や地域創生の具現化に結びつけて頂きたいと思えます。

全林研齋藤会長挨拶	1
全国林業グループコンクール	2
全林研通常総会	6
全林研中央研修会	7
全国林業後継者大会	8
全国がんばる林業高校生表彰	10
全林研新執行部から	11
森町林業グループ創立30周年によせて	12
全林研ホームページ紹介	13
はつらつコーナー	14
お知らせ	20



山形県行政書士会 × 林業グループ × 山形森林調査協会
 <大江町光林会・朝日町実林会>

**スマホを見ながら
 所有山林に行こう!**

～地籍調査の図面をGoogleEarthに表示させる方法を学びます～

申込〆切 10/20

講師 山形森林調査協会 大沼啓一
 (山形県測量設計事務所 空間情報部長)
 山形県行政書士会 船修二
 (山形県行政書士会 名誉会長)

こんな人におススメの内容です!
 山林を相続したが所在が分からない
 地籍調査の杭が見当たらない
 所有山林の場所を子や孫に伝えたい

日時 令和4年 11月6日(日) 9:30-16:00
 場所 大江町中央公民館「ぶくらす」(山形県西村山郡大江町大字本郷丁373-1)

無料で
 参加費は自
 分のスマホ
 を見ながら
 境界線と杭
 調査協会の協
 力を得て開催
 士会や山形森林
 調査協会の協
 力を得て開催

●大江町光林会(山形県)
 スマホを持って所有林を探しに行こう

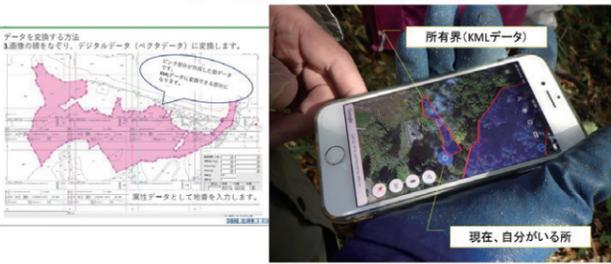
全国的に所有者不明土地が社会問題化している中で、「山林を相続したが所在が分からない」、「地籍調査が終わっているのに杭が見当たらない」、「所有する山林の場所を子や孫に伝えたい」といった森林所有者の声や若い人は林業について無関心、相続登記が進んでいない等の現状に対し、少しでも若い世代に興味を持って貰うにはどうしたら良いかを考え「スマホを持って所有林を探しに行こう」研修会を企画。

を探索し、自分が動くごとに地図アプリの中の自分の位置情報も一緒に移動して行くことを確認し、とても感動した様子。親と一緒に参加した後継者の方は今回参加してみても、「自分がやりたかったことがこれだ!」と思っただ。との感想。

研修会の様子が山形新聞に掲載されたこともあり、他の地域からも問い合わせ。今後、今回作成したマニュアルに得られたノウハウを加え、一般の森林所有者に広く普及していくことにより、多くの方々の所有山林への意識が変わり、相続登記も進み、山の手入れをしてみたいと考える森林所有者も増加するものと期待。

研修会の内容

- ④法14条地図を位置情報付のデジタルデータに変換(KML形式)
- ⑤スマホにGoogleEarthをインストールし、KMLデータを表示させる
- ⑥スマホを見ながら現地の境界線を歩く(杭を探す)



全国林業グループコンクール

農林水産大臣賞 は山形県

「大江町光林会」



和6年度)通常総会
 研究グループ連絡協議会



農林水産大臣賞を受賞された「山形県 大江町光林会」の会田幸子会長(右)と山形県林研連の清野忠市会長(左)。青山豊久林野庁長官(中央)とともに

令和5年度の全国林業グループコンクール(主催/全国林業研究グループ連絡協議会、協賛/全国林業改良普及協会)が、2月29日、東京都千代田区の全国町村会館で、集合開催され、ブロックコンクールで選ばれた6グループが日頃の活動成果を発表しました。

最優秀である農林水産大臣賞には、北海道・東北ブロック選抜の山形県・大江町光林会が選ばれました。林野庁長官賞ほかの入賞グループは下表のとおりです。

なお、審査員は安村直樹氏(東京大学大学院准教授 審査委員長)、香田晃代氏(全国森林組合連合会 組織部林政課 担当課長)、大塚生美氏(森林総合研究所東北支所 主任研究員)、中山聡氏(全国林業改良普及協会 専務理事)の4名にお願いしました。

令和5年度全国林業グループコンクール入賞一覧

- 農林水産大臣賞
 山形県 大江町光林会
- 林野庁長官賞
 千葉県 子育て支援ステーションニッセ
 富山県 魚津地区林業研究グループ協議会
 大阪府 茨木里山を守る会
 山口県 三隅林業研究グループ
 福岡県 黒木町林業振興会
- 全国林業改良普及協会会長賞
 福島県 会津里山森林資源育成研究会
 東京都 特定非営利活動法人 青梅林業研究グループ
 福井県 フォレストケア高田
 奈良県 野田川村林業研究会
 徳島県 かみやま林業振興会
 大分県 佐伯市林業研究グループ「あさぎりの会」
- 全国林業研究グループ連絡協議会会長賞
 北海道 釧路町林業グループ
 青森県 青森県グリーンマイスター協議会
 岩手県 岩手県森林組合青年部連絡協議会
 宮城県 一迫林業研究会
 秋田県 本荘由利森林組合林業研究会
 茨城県 鹿行森林クラブ ミツバチ講座部門
 群馬県 ふれあい森伊勢崎
 埼玉県 木の駅入口
 埼玉県 一般社団法人 山守学舎
 山梨県 いぶき会
 新潟県 北富士林業研究会
 石川県 輪島市林業研究グループ
 長野県 頸北林業研究会
 岐阜県 本白川村林業グループ
 岐阜県 東白川村林業研究会
 静岡県 NPO法人 森林真剣隊
 三重県 松阪林業研究会
 滋賀県 長浜市伊香林業研究グループ
 京都府 綾部市林業研究会
 和歌山県 加美林業研究会
 鳥取県 日高川町林業研究会
 鳥取県 鳥取市林業振興協議会
 鳥取県 NPO法人 緑と水の連絡会議
 岡山県 真庭森林・林業研究会
 岡山県 広島県林業研究グループ連絡協議会
 香川県 さぬき市林業研究会
 愛媛県 内子町林業研究グループ
 佐賀県 七山林業研究会
 長崎県 島原したけ研究会
 熊本県 天草林業研究グループ
 宮崎県 小林市林業研究グループ
 鹿児島県 大和村ンキミ生産組合
 沖縄県 首里城公園友の会

令和6年度 全林研通常総会を開催

令和6年3月1日、東京都千代田区の全国町村会館において、令和6年度全国林業研究グループ連絡協議会（全林研）の通常総会が集合により開催されました。会長挨拶に続き、来賓の青山 豊久林野庁長官、中山 聡全国林業改良普及協会専務理事により祝辞をいただいた後、議事に入り、執行部提案の各議案について審議が行われ、全て原案通り承認されました。全林研の令和5年度決算、6年度予算は別表のとおりです。また、永年功労者に感謝状を贈るとともに、全国林業グループコンクール入賞グループの表彰を行いました。

令和6年度） 業研究グループ連絡協議



全林研令和6年度予算

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

一般会計		(単位：円)		
科 目	当年度予算(A)	前年度予算(B)	増減(A-B)	
1. 収入の部				
会 費	920,000	920,000	0	
全林 協 助 成 金	1,000,000	1,000,000	0	
事 例 集 販 売 額	500,000	500,000	0	
全林研グッズ販売額	3,000,000	3,000,000	0	
広 告 料	280,000	280,000	0	
雑 収 入	1,000	1,000	0	
収 入 合 計	5,701,000	5,701,000	0	
2. 支出の部				
会 議 費	2,800,000	1,800,000	1,000,000	
事 業 推 進 費	200,000	200,000	0	
機 関 誌 発 行 費	600,000	900,000	△ 300,000	
事 例 集 発 行 費	500,000	500,000	0	
全林研グッズ制作費	3,000,000	3,000,000	0	
緑の募金拠出金	50,000	50,000	0	
事 務 局 費	380,000	380,000	0	
支 出 合 計	7,530,000	6,830,000	700,000	
当 期 収 支 差 額	△ 1,829,000	△ 1,129,000	△ 700,000	
前 期 繰 越 額	13,727,450	14,777,501	△ 1,050,051	
次 期 繰 越 額	11,898,450	13,648,501	△ 1,750,051	

特別会計(国庫補助金)		(単位：円)		
科 目	当年度予算(A)	前年度予算(B)	増減(A-B)	
1. 収入の部				
収 入 合 計	21,380,000	21,118,000	262,000	
2. 支出の部				
支 出 合 計	21,380,000	21,118,000	262,000	

全林研令和5年度決算

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

一般会計		(単位：円)		
項 目	決算額	予算額	差引増減	
1. 収入の部				
会 費	920,000	920,000	0	
全林 協 助 成 金	1,300,000	1,000,000	300,000	
事 例 集 販 売 額	399,730	500,000	△ 100,270	
全林研グッズ販売額	2,848,360	3,000,000	△ 151,640	
広 告 料	280,000	280,000	0	
雑 収 入	12	1,000	△ 988	
収 入 合 計	5,748,102	5,701,000	47,102	
2. 支出の部				
会 議 費	2,838,717	1,800,000	1,038,717	
事 業 推 進 費	188,116	200,000	△ 11,884	
機 関 誌 発 行 費	584,639	900,000	△ 315,361	
事 例 集 発 行 費	505,560	500,000	5,560	
全林研グッズ制作費	2,197,306	3,000,000	△ 802,694	
緑の募金拠出金	50,000	50,000	0	
事 務 局 費	433,815	380,000	53,815	
支 出 合 計	6,798,153	6,830,000	△ 31,847	
当 期 収 支 差 額	△ 1,050,051	△ 1,129,000	78,949	
前 期 繰 越 金	14,777,501	14,777,501	0	
次 期 繰 越 額	13,727,450	13,648,501	78,949	

特別会計(国庫補助金/未来の林業を支える林業後継者養成事業)		(単位：円)		
項 目	決算額	予算額	差引増減	
1. 収入の部				
未来の林業を支える林業後継者養成事業	21,118,000	21,118,000	0	
2. 支出の部				
未来の林業を支える林業後継者養成事業	21,118,000	21,118,000	0	

令和5年度全林研中央研修会

コロナ禍からの脱却

女性活躍時代への誘導と未来の林業への挑戦

11月17日、全林研の自主事業として初の中央研修会が、ハイブリッド(集合研修とリモート配信)で開催されました。テーマは、「コロナ禍からの脱却ー女性活躍時代への誘導と未来の林業への挑戦」。林研グループとしては従来の活動をそのまま踏襲するのではなく、新しい時代に向けて取り組むべき課題を見つけ答えを探しながら進むべき時」という危機感を持つ開催です。

研修会では講演とディスカッション(事務局部会、女性活躍部会)が行われました。

— 講演 —
森林業で日本の森をモリアゲよう！

講演では長野麻子氏が森と木の可能性、各地の実践例を挙げながら、森林を活かした地域づくり、仲間づくりを長年の実績がある林研グループへのエールをいただきました。



(株)モリアゲ代表 長野麻子氏

— ディスカッション参加者の感想 —
女性活躍部会

私(小田)は、女性活躍部会に宮崎からリモートで参加し「仲間を増やそう」をテーマに、各都道府県で活躍されている女性林業家や林業に関心のある女性グループと現状や課題を共有しました。

各参加者の抱える課題と現状については全国共通で、会員の高齢化、新規会員加入の少なさと、コロナ禍による活動停滞で今になっても活動が思うように進まない現状の報告がほとんどでした。

森林に対する取り組みを何かやりたいと思っても、成果の即効性を求めると会員に圧がかかり、結果が出ないと公にも認めてもらえない。実績を上げられずに予算が削減されると益々負担が増え、その会の活動に対する意義も意欲も見失ってしまいがちになる悪循環を断ち切れずにもがいている状況。

そんな中、群馬県の田村美恵子さん(元林業労働力確保支援センター・林業就業支援アドバイザー)から国家資格キャリアコンサルタントと…肩書きすごいんですけど…魅力的なご本人の(人柄)のよさに、猫やおいしいご飯を共有して、ゆるく声をかけて楽しく活動する事例もありました。また、愛媛県の北条女性林研



ハイブリッドイベントで会場とリモートの参加者が一体となり、ディスカッションが盛り上がる

グループは、山は持たないけれど、日々の暮らしを発信しながら、ふわっと会員を増やす取り組みをしています。

組織に加入となると、敷居が高いイメージを持たれてしましますが、もっと間口を広くし、一見林業とは関連がないような要望にも耳を傾け、楽しく興味のある活動だけに参加できる柔軟な受け入れ態勢へと意識改革すること、今の時代に合わせた敷居の高さを感じさせない工夫を心がけることが必要だと思いました。

キーポイントは、やはり人とつながり

特に女性は、可愛いものを素直に愛でる・美しいものやおいしいものに心身が癒される傾向があります。見て触れて味わって学べる、これらを取り入れた企画は魅力的です。

今回、活動の意義や繋がりを模索し続

ける中で、美と健康、おいしいものが森と繋がることで、森林の魅力が一気に広がるという新たなヒントを得ました。それらを取り入れて今度どういった企画をたてようか、考えるだけでも、ワクワクしてきました。

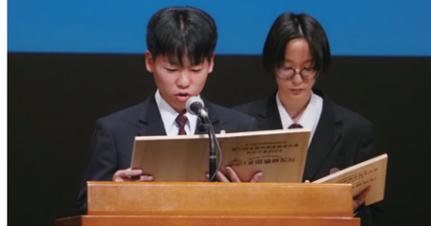
枠にとらわれずに純粋に自分が楽しめることに、ゆるりふわりと声掛けし、それらを共有でき共に成長し合える仲間を増やす未来に、うきうき期待が膨らんでいます。

全林研女性会議 小田ちはる(宮崎県)

第1回目の「山・森・人フォトコンテスト」を開催します。

林業での日々の楽しさ、美しさ等をテーマとした写真を撮影し、以下のQRコードの応募フォームに必要事項を入力の上、写真データを添えて、令和7年1月20日までに提出をお願いします。是非、ご応募ください！





岡山県立勝間田高校森林系列2年
田中さんと山本さんによる大会宣言



パネルディスカッション
コーディネーターの嶋岡山大学学術研究院教授



井上埼玉県実行委員会会長による次期開催挨拶



第52回 全国林業後継者大会 おかやま2024

「第52回全国林業後継者大会おかやま2024」が5月25日、岡山県津山市の津山文化センターで開かれ、全国から林研グループ等林業関係者325人が参加しました。

(主催者/全国林業研究グループ連絡協議会、岡山県林業研究グループ連絡協議会、岡山県、津山市)

オープニング舞踊集団宮坂流



パネリストの皆さん



田中全林協副会長の祝辞



青山山野庁長官の祝辞



齋藤全林研会長の挨拶



三木実行委員会会長による開会の言葉

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
第52回全国林業後継者大会おかやま2024には、全国各地より多くの皆様の御参加をいただき、ありがとうございました。
大会では、「未来へと森林と技術をつなげよう」をテーマに、これからの林業を支える担い手の確保・育成や、林業における職場の働き方改革などの取組を発信するとともに、「伐って・使って・植えて・育てる」と

第52回全国林業後継者大会おかやま2024の御礼

第52回全国林業後継者大会岡山県実行委員会(岡山県林業研究グループ連絡協議会) 会長 三木敬臣

「植えて・育てる」ことの大切さと、今後向かうべき方向について意見を交わし、全国の森林・林業に関わる皆様とも思いを共有することができたのではないのでしょうか。
この大会の開催が契機となり、御参加いただいた皆様と全国の林業後継者の更なるご活躍と、豊かな森林を次世代へ引き継いでいくことを祈念し、お礼の言葉といたします。

この大会は、昭和45年、全国植樹祭の前日に福島県猪苗代町において、「全国林業後継者のつどい」として開催したのが始まりです。これを契機に「全国植樹祭関連行事」として、各県で開催されるようになりました。
開会式典では、三木敬臣第52回全国林業後継者大会岡山県実行委員会会長の開会の言葉にはじまり、上坊勝則岡山県副知事、齋藤正全国林業研究グループ連絡協議会会長の主催者挨拶、谷口圭三津山市長による歓迎の言葉、来賓の青山山野林野庁長官、田中惣次全国林業改良普及協会副会長が祝辞を述べられました。
活動発表では、岡山林業未来会 会長 竹原真和さん、事務局 廣瀬美恵さん、久米郡森林組合 業務課課長代理 小嶋康彦さん、業務課技術員 横山芳典さん、岡山県立勝間田高等学校 森林系列教諭 鳥飼智明さん、森林系列2年 田中敬大さん、山本璃奈さん、株式会社戸川木材 代表取締役 戸川睦徳さんがそれぞれの取組みを発表しました。
発表に続き、「共に始めよう植えること・育てること・使うこと」をテーマに、岡山大学 学術研究院 環境生命科学学域 教授の嶋一徹さんをコーディネーターとして、パネリストとして活動発表された皆さん、このうち久米郡森林組合からは参事の池田政宏さん、岡山県森林組合連合会 木材販売課課長の奥山総一郎さんが参加してパネルディスカッションが行われ、植えて・育てるための林業の担い手確保等に関して、それぞれの立場から活発な討論が行われました。
閉会式典では、岡山県立勝間田高等学校 森林系列2年 田中敬大さん、山本璃奈さんにより、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させていくことが私たちの役割、との大会宣言がなされました。
続いて、第53回全国林業後継者大会埼玉県実行委員会の井上淳治会長から次期開催県の挨拶があり、岡山県実行委員会平田 暁副会長による閉会の言葉により幕を閉じました。
また、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症に位置付けられたことを受け、5年ぶりとなる交歓の夕べが開催され、趣向を凝らしたアトラクション等により大変盛り上がり、交流を深めることができました。

この大会は、昭和45年、全国植樹祭の前日に福島県猪苗代町において、「全国林業後継者のつどい」として開催したのが始まりです。これを契機に「全国植樹祭関連行事」として、各県で開催されるようになりました。
開会式典では、三木敬臣第52回全国林業後継者大会岡山県実行委員会会長の開会の言葉にはじまり、上坊勝則岡山県副知事、齋藤正全国林業研究グループ連絡協議会会長の主催者挨拶、谷口圭三津山市長による歓迎の言葉、来賓の青山山野林野庁長官、田中惣次全国林業改良普及協会副会長が祝辞を述べられました。
活動発表では、岡山林業未来会 会長 竹原真和さん、事務局 廣瀬美恵さん、久米郡森林組合 業務課課長代理 小嶋康彦さん、業務課技術員 横山芳典さん、岡山県立勝間田高等学校 森林系列教諭 鳥飼智明さん、森林系列2年 田中敬大さん、山本璃奈さん、株式会社戸川木材 代表取締役 戸川睦徳さんがそれぞれの取組みを発表しました。
発表に続き、「共に始めよう植えること・育てること・使うこと」をテーマに、岡山大学 学術研究院 環境生命科学学域 教授の嶋一徹さんをコーディネーターとして、パネリストとして活動発表された皆さん、このうち久米郡森林組合からは参事の池田政宏さん、岡山県森林組合連合会 木材販売課課長の奥山総一郎さんが参加してパネルディスカッションが行われ、植えて・育てるための林業の担い手確保等に関して、それぞれの立場から活発な討論が行われました。
閉会式典では、岡山県立勝間田高等学校 森林系列2年 田中敬大さん、山本璃奈さんにより、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させていくことが私たちの役割、との大会宣言がなされました。
続いて、第53回全国林業後継者大会埼玉県実行委員会の井上淳治会長から次期開催県の挨拶があり、岡山県実行委員会平田 暁副会長による閉会の言葉により幕を閉じました。
また、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症に位置付けられたことを受け、5年ぶりとなる交歓の夕べが開催され、趣向を凝らしたアトラクション等により大変盛り上がり、交流を深めることができました。

全林研新執行部から

令和6年3月1日に開催された令和6年度通常総会において、新たに選任された常任理事の皆さまをご紹介します。

小森谷孝志

この度、全林研常任理事を拝命いたしました、群馬県の小森谷孝志と申します。「中山間地域の林業活性化による地域の創生」という林研グループの目的に寄り添いつつ、切磋琢磨したいと思います。

また、戦後最も山が荒れた時代、先人達が「山に美しい晴れ着をさせたい」をスローガンに木を植えて、美しい地域をつくり上げてくださいました。先人たちの精神を受け継ぎ、私たちも良い形で未来に美しい「地域」・「山」を良い形で受け渡せるよう、微力ではありますが、林研活動に邁進してまいりたいと思います。

デジタル広報推進委員会、副委員長も拝命させていただいておりますが、「ソサエティ 4.0」の世界が「いつでも・どこでも・だれでも」つながれる世界の確立であります。これから目指す「ソサエティ 5.0」の世界は「今だけ・ここだけ・あなただけ」の地域社会の輝く時代です。今以上に輝ける未来を皆さんとともに歩んでいきたいと考えています。よろしくお願いいたします。



菊池俊一郎

皆様初めまして。令和6年度から全国林業研究グループ常任理事をさせていただいております菊池です。まだまだ経験不足なところもありますが、全国の皆様と一緒に盛り上げていきたいと思っております。

私は全林研とともに育ってまいりました。全林研の主催のリーダー研修でいろいろ学び、全国の方々といろいろと交流を持たせていただき、今に至っております。

林業は今いろいろと大変な状況に置かれております。労働力不足や森林への関心の薄さ、木材価格の低迷などいろいろな問題があるのは存じています。その中で林研グループができることは多いと感じています。私自身どれだけのことができるのかわかりませんが、斎藤会長をはじめ諸先輩方にいろいろ教えを頂きながら、頑張りたいと思います。

皆様とともに良い日本の林業と林研グループを盛り上げてまいりましょう。



山崎靖代

会員の皆さま、この度常任理事を拝命致しました、東京都の山崎です。

エンジョイ・フォレスト女性林研とNPO法人青梅林業研究グループに所属しております。女性林研では環境教育を中心に森林から得られるものを都会の方々のために提供する活動をし、青梅りんけんでは将来を見据えた人材育成を中心に活動をしています。

私自身は家業の林業を受け継いで細々と続けておりますが、東京での林業も大変なことがたくさんあり、ぜひ林研の皆さまと情報交換をして、地元でのことだけでなく幅広く知識を得ることができればと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



WE LOVE forest.

未来の森林・林業を担う

令和5年度未来の林業を支える林業後継者養成事業 全国林業研究グループ連絡協議会

令和5年度全国がんばる林業高校生表彰

地域課題解決に取り組む



最優秀賞(林野庁長官賞) 熊本県立矢部高等学校の佐伯ふみさん

「全国がんばる林業高校生表彰」は、未来の森林・林業を担う人材として、地域の森林・林業の振興及び、課題等の解決を目指して取り組んでいる意欲的な活動・研究に取り組んでいる高校生の取組を応援するため、全国林業研究グループ連絡協議会(全林研)が開催している表彰行事です(後援:林野庁、協賛:全国林業改良普及協会)。

4回目となる今年度の表彰行事は、森林・林業関係資格の取得や研究等の取組状況、受賞実績、森林・林業振興をはじめとした社会活動への参画状況を多面的に評価する「学校推薦部門(個人)」と、地域の森林・林業の振興や課題解決に向けた活動・研究、社会活動への参画状況、成果物の地域社会への貢献等を評価する「地域活動・研究部門(グループ)」の2部門で実施されています。各賞を決める二次審査は、2月2日にオンラインで開催され、「学校推薦部門」6名、「地域活動・研究部門」6グループが発表を行いました。

最優秀賞の林野庁長官賞は、「学校推薦部門」では熊本県立矢部高等学校の佐伯ふみさん(2年生)が、「地域活動・研究部門」では高知県立高知農業高等学校の森林総合科・森のめぐみクラブ(専門部)がそれぞれ受賞しました。

「今回は頑張り評価していただいて本当にうれしく思っています。林業を高校卒業してからも学んで、発表でも話したとおり最終的には地元を森林を守る、地元に戻りたいという目標に向かっていきたいと思っています」(矢部高等学校の佐伯さん)。

「最先端のICTやGIS等を

使った研究の発表内容を評価してもらいうれしい。これからも林業の繁栄のためにがんばっていききたいと思っています」(高知農業高等学校代表として岡慎之助さん)。受賞者からは力強いコメントがありました。

「がんばる林業高校生の活動例は、効果的な下刈り作業の考察、小学校での様々な体験学習、間伐材を利用した作品制作とSNS発信、特殊伐採、ICTを活用した森林情報の整備、端材の有効活用、森林環境教育の実践など、いずれも地域の森林・林業の振興や課題解決に向けた活動です。林研グループや林業経営体から支援を受けている活動も多くあり



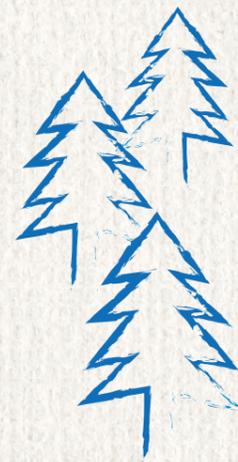
最優秀賞(林野庁長官賞) 高知県立高知農業高等学校の森林総合科・森のめぐみクラブ(専門部)のみなさん



高知農業高等学校のプレゼンテーション。GIS上で調査対象木を決定し、実習で30本の立木を伐採。樹高を巻尺により実測。ドローンによる予測値と比較

令和6年度の本表彰行事のエントリーは、9月2日~11月1日まで。お近くの林業高校の先生に働きかけて、大勢の未来の森林・林業を担う高校生にエントリーいただけるよう協力をお願いします。表彰行事の詳細は、2次元バーコードからご覧ください。

全林研としても本表彰行事やインターンシップ等を通じて未来の森林・林業を担う林業高校生のサポートを引き続き行っていききたいと考えています。



森町林業グループ 創立30周年記によせて

○森町林業グループ

森町林業グループのある北海道森町は北海道の道南噴火湾南端に位置しており、平成7年7月7日に発足しています。元々林業普及指導員の皆様のご助力を得ながら炭窯を造る所から始まり現在でも薪炭材生産、薪炭製造を行っています。

○特徴

炭焼きから、多様化する価値観の中においての林業研究会の新しい在



り方として

「よい山をつくれれば、良い土になり、良い海になる」

山の事だけではなく、地域の田畑、また川が流れ込む海等地域に根差した地域を立体的に考えた林業の在り方、形の答えがありました。水産業の方と一緒にイベントを行うと言う事例は各地にみられています。が、会員に「水産業」を生業とする方もおり、林業と漁業という考えにまで「精神的」「人的」「経済的」にもつながっており、実際に山も川も田畑も海も「人のつながりとして切れたい」ということに変革感を感じました。

○林研グループと

振興指導の理想的な形

30周年式典には、町長をはじめ、県関係局長、課長、を含め多くの行政の皆様が参加されました。現在、全国において、次世代を担う林業研究会と行政の振興の在り方が大きな問題になっており全林研でも真剣に取り組んでいます。「森林譲与

税に伴う地域・山村振興」時代の中、全県を含めた振興の在り方に理想的な一石を投じるものではないかと思っています。

最後に、二つのことに言及をさせていただきます。ただただののであれば、一つには林業普及担当課長が「主席」普及指導員を兼務していること、また課長という敬称ではなく「主席」という敬称で呼ばれていたことに驚きを感じました。また、元主席（元林業普及担当課長）の皆様が、森町林業グループの皆さんと非常にフランクに話しながら今でも懇親を深めあっている姿には感動いたしました。

各都道府県にはそれぞれの振興方針がありますし、それは尊重されるべきものだと考えています。多様な問題に取り組んでいく中で難しいことは存じますが、このような事例があることに思いを巡らせていただけたら幸いです。

文責 常任理事 小森谷孝志
監修 副会長 山口敏男



森町林業グループ 創立30周年記念植樹
2024年7月6日 主催：森町林業グループ 共催：ネイバル森

全林研ホームページ紹介

令和5年度全国林業研究グループ連絡協議会のホームページが開設されました。掲載内容は「会長挨拶」「全林研とは」「情報提供」「森人の声」「イベント案内」「会務報告」「役員事務局紹介」「お問い合わせ」となっています。

主な内容のご紹介をさせていただきます。

●情報提供

情報提供には、全林研も係るセミナーの案内、全林研事務局からのお知らせを提供しています。

●森人の声

森人の声は、全林研 Youtubeのアップロードを中心に主催事業の映像コンテンツ等掲載することで皆様に、全国各地の情報も含め発信しています。

●イベント案内

イベント案内については、主催事業や要望に応じて、各県林研各単位林研のイベント情報をお知らせしていく予定です。

●広報誌/会務報告

役員・事務局紹介

広報誌では、全林研だより「緑創」をPDF版にてダウンロード可能です。会務報告、役員・事務局紹介についても是非一読いただければと思います。



<https://zenrinken.com/>
全林研ホームページ



<https://www.youtube.com/@zenrinken>
全林研Youtubeチャンネル

会員 SNS 関連ページリンク及び、全林研 Youtube チャンネルへの動画掲載募集について

全林研では会員（都道府県林研、単位林研等）で作成している SNS について全林研ホームページにて関連 SNS ページのリンク及び、会員が撮影した動画を全林研 Youtube チャンネルにて情報発信を行う事業を進めています。つきましてはリンク先や動画を募集しておりご協力をよろしくお願いいたします。尚、関連ページ及び Youtube への掲載には時間がかかる場合、動画一部修正する場合がありますことをご理解、ご了承いただければ幸いです。応募は全林研ホームページのお問い合わせホームよりお願いいたします。

令和6年度 林研ユニフォーム等のご案内

Tシャツ、ポロシャツ、ブルゾンやタオル等の制作・販売を行っています。林業グループコンクールをはじめ、林研事業の実施や各地で開催されるイベントなど、さまざまな活動の場でご利用ください。

薄く、軽く、速乾性・通気性にすぐれた素材です。

便利な胸ポケット付き

UV カット機能付き

便利な両脇ポケット付き

グリーン
レッド
エプロン...2,000円

○ホワイト ●ブラック
帽子...1,600円

○ネイビー ●ネイビー
○イエロー ●ブラック
半袖ポロシャツ...2,700円

○ラベンダー ●ターコズブルー
○ピンク ●ネイビー ●ホワイト
半袖ドライTシャツ...1,600円

●ネイビー ●デイズ
●アーミーグリーン
長袖ドライTシャツ...1,700円

その他のアイテム

タイピン 700円	下敷き 1枚 100円 ・100枚以上 50枚単位 ・B5サイズ
-----------	--

トートバック 1,000円

エコタオル 330円

■お申し込み・お問合せ先

お求めは、グループまとめて都道府県林研連事務局へ
お問い合わせは、全国林業研究グループ連絡協議会 03-3500-5033 まで
※令和5年度林研ユニフォームのチラシはこちらからご覧いただけます。

はつらっコーナー



全国林業研究グループ連絡協議会
女性会議代表 坂本ちづる

出来る活動から

日頃より女性会議の活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび1月1日に発生しました能登半島地震において、亡くなられた方々、ご遺族の皆様に対して深くお悔やみ申し上げます。

私自身も能登半島、穴水町に住んでおり、被災した者ですが、避難している間、全国の林研の方々から、温かいお言葉や、支援物資を送っていただき、とても励まされました。林研の素晴らしさを改めて実感いたしました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。まだ戻らざる道のりは遠いと思いますが、少しずつでも出来ることから頑張ろうと思えます。

張ろうと思えます。さて、女性会議においても出来る活動から取り組んでいるところですが、今年度からは、情報誌はつらつのメインコーナーでもあった、はつらつ編集委員が取材する女性林研グループの紹介が復活しました。毎年1林研を取材していく予定です。素晴らしい活動をされているグループをご紹介できることに喜びを感じます。

さらに11月には、「特別企画はつらつ林業女性交流会」を開催します。森に関わる人々が集まり「食べよう・作ろう・先人の知恵！」伝統食、保存食、非常食をテーマに勉強しようと考えています。

今の時代、自然災害等何が起こるか分かりません。日常時・非常時ともに役立つ先人からの伝統を伝え傳承しなければならぬと感じています。是非、皆様ご参加をお願いします。最後になりましたが、皆様方が1日1日平和な日々が送れますように、そんなことを考える今日この頃です。

未来を支える事業の紹介 女性リーダーや女性の起業活動を支援する セミナー等の開催

全国林業研究グループ連絡協議会では、「令和6年度未来の林業を支える林業後継者養成事業」(林野庁補助事業)で、次の2つのメニューを企画運営しています。

1つめは、林業におけるキャリアアップやライフステージに応じた働き方を提案できる人材の育成を目的とした「令和6年度森林・林業を活かして地域を興す女性リーダーセミナー」の開催です(オンラインで実施)。

セミナーには、女性林業研究グループ、林業女子会、森女ミーツィング、都道府県の林業普及指導員等が参加し(8~10月で5回開催)、講師(経歴、活動地域等が様々な5人の女性林業者)による、現在の取組に至ったきっかけ、その取組を実現するためのキャリアアップ、実現のために工夫した点等のお話から、リーダーに不可欠な要素について学びます。

2つめは、女性林業者等による起業活動の支援です。事業範囲は、林業、林産者です。事業範囲は、林業、林産、木工、特用林産(山菜・キノコ)、ジビエ等の食、森林・林業教育、森林利用・リクリエーション、木育等となっております(スクールの定員は、10名程度)。事業創出のワークフレーム等について実践的な学びや気づきを提供し、受講者が「森のめぐみを活かし、地域で事業を創出する」ための具体的なアクションを実行していくことを目指します。

令和6年 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞!! 〈個人〉

令和6年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰に、歴代の女性会議代表である福田珠子さんが受賞されました。おめでとうございます!



受賞された福田珠子さん。娘さん(左)、息子さん(中央)、息子さんのお嫁さん(右)と一緒に記念撮影

〈功績の概要〉

福田さんは平成10年からご主人の事業である林業を継ぎ、森林経営に取り組んでこられました。森林内での子ども向け体験教室や、都市住民向けの市民講座等を継続的に実施するほか、東京都の女性林業研究グループ(エンジョイ・フォレスト女性林研)の会長等を歴任し、地域の森林づくりや緑化意識の醸成に貢献しています。特に、森林を活かした保育に早くから着目し、所有山林を開放し、そこでの

活動を通じて子どもの心の成長を図る「自然労作保育」として、保育園児や小学生を対象に山歩きや木工工作、間伐体験等を約20年にわたり継続して実施し、地域の森林環境教育や木育を牽引してきました。

また女性林研では、森で採集した材料を使って草木染の体験講座を開催するなど、一般市民の森林への関心を高める活動を行うとともに、女性会議代表等を歴任し、その活動に貢献してきています。

さらに、平成13年には、武蔵野市及び公益財団法人東京都農林水産振興財団と協定を結び、所有林を自然体験フィールド「二俣尾・武蔵野市民の森」として提供し、市が主催する「森の市民講座」を運営・指導するなど、緑化に関する行政と連携した普及啓発にも積極

的に取り組んでいます。

その先見性により、子どもを対象とした森林環境教育に早期から取り組むとともに、講座等を通じて広く市民の緑化意識の醸成に貢献したとして、それらの活動が高く評価され、今回の受賞となりました。

女性会議や女性林研の活動等の取り組みで一緒に活動して感じることは、信念を持つて一生懸命に取り組んでいらっしゃるのと、大変な指導力があることです。これからも、ますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。



森の市民講座にて森の散策



子どもたちを対象とした森の散策

※いずれもエンジョイ・フォレスト女性林研での活動

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰について

緑化活動の推進、緑化思想の普及啓発に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、関係省庁からの推薦に基づき、内閣総理大臣が表彰を行うもの。国土の緑化に関し、関係行政機関相互の緊密な連携を図り、もって総合的かつ効率的な諸施策の推進を目的として設置された緑化推進連絡会議(議長は農林水産大臣)にて、緑化運動推進の一環として昭和59年から毎年実施。

復活!

各地で活躍している林業女性グループを訪ねて

今回ののはつらっコーナーより、各地で活躍している林業女性グループを中心に、はつらっ編集委員(全林研女性会議役員)が取材する企画が復活しました。毎年1林研の取材となりますが、皆様にお伝えできる機会が嬉しく思います。また、現地取材に応じていただきましたグループを始め、林研事務局、林業普及指導員等の皆様のご協力に、深く感謝いたします。

宮崎県

諸塚村林業研究グループ会議

7月26日、湿度100%、熱中症警戒アラートが連日続く夜に諸塚村へと向かいました。

諸塚村林業研究グループ会議で活躍する女性への取材旅です。せっかくなので、私が所属する美郷町北郷女性林研グループとの交流会も兼ねて、お互いのグループ



諸塚村林業研究グループ会議と筆者が所属する美郷町北郷女性林研グループとの交流の様子(左前が藤岡会長、右が池田さん、筆者は左の2番目)

林研グループの結束力で新たな素材(諸塚村産のセンダン)の活用挑戦

同士の情報交換と親睦を深める機会としました。

その夜は、諸塚村林業研究グループ会議からは、会長の藤岡成美さんと会員の池田道子さん2名が参加し、美郷町北郷女性林研グループからは5名の合計7名で、じっくりとお話を伺うことができました。

林業と椎茸の村

宮崎県の諸塚村は、2015年に近隣の地域とともに世界農業遺産に認定され、村の95%を山林が占める林業が盛んな地域です。林業立村のスローガンの



顔のようなかわいいデザイン『どんこ亭』



諸塚産の椎茸をふんだんに使用した「いたけだ〜ん」の椎茸丼

もと、山を守り、森林を作り、自然と共に生しつつ、森の恵みを受けながら、村づくりを進めていて、時代に先駆けFSC森林認証(適正な森林管理への認証)を取得し、特産の椎茸は、COC認証(林産物の加工、流通過程を認証)を世界で唯一取得しているなど、森林の恵みの活用に向けて次々と具体的な実践を行っています。

諸塚村林業研究グループ会議の概要

その諸塚村において、平成15年に、男性林研と女性林研は統合さ

新たな森林資源の可能性について

2017年から早生樹(従来の造林樹種であるスギやヒノキは、主伐までに35年以上必要なのに対し、15年から20年で主伐可能となる)センダンに着目し、福岡大川家具工業会と、センダンの植栽の取り組みを始めています。令和2年には、実生から育成した村内産の苗による植栽ができるようになり、実証実験地を増やし続けて、令和4年には、大川家具工業会とお隣の椎葉林研グループも共に記念植樹しました。また、毎年来



大川家具工業会と記念植樹

男女の分け隔てなく、同等に同じ活動をしていることで、意見もバンバン遠慮なくぶつけ合えることが、諸塚林研の結束力の高さにつながっているのだと感じました。



河野俊嗣宮崎県知事がお買上(県庁前 楠並木販売)

村される大川家具工業会の皆さんたちの他にも、鳥取県東部森林組合や愛知県森林林業技術センターなど、県内外からの視察も年々増加してきています。諸塚村からも、福岡大川家具の展示会へ出向き、様々な樹種の商品を視察して、センダンの可能性を強く認識しています。4月には、センダンの繋がりで、鳥取

県への視察研修にも行ってきました。もつとセンダンの魅力を知ってもらおうと、村内に自生し成長したセンダンを確保して、シンプルに木目の美しさを生かせる



製材したセンダンのカッティングボード

カッティングボードの製品作りと販売も行っています。実際に手に取って間近に見てもらうことにより、その魅力を伝えることができ、林研グループの収益に繋がった事で、会員の意欲向上と新たな商品素材に対する期待と手ごたえを実感しています。



センダンのカッティングボードの展示販売

今後、なるべく早く成果を積み上げ、将来的には諸塚のセンダンを使った家具等の製品が皆様のお手元に届く様になる事を目指しています。

今後の期待

新たな素材の活用として、諸塚村産のセンダンが、どういった商品になるのか未来を思い浮かべなが

小田ちはる

れ、「諸塚村林業研究グループ会議」として発足しました。男性41名・女性17名、20代から70代までの幅広い年齢層で職業も多様なメンバーで構成されています。

女性会長の藤岡さんは、森林組合の搬出の仕事を経て、現在は造林を12年以上続ける現役バリバリの大ベテラン。池田道子さんは、東京生まれ東京育ち。好きな林業に関わる仕事をするために諸塚村に2014年に単身移住し、今、地元的林業会社で現場作業員として、生き生きと搬出作業に従事しています。2人とも、ずっと林研グループの一員として積極的に活動を続



盆栽作りの様子

ら活動を続けていくうちに、地元の中学生たちにも思いを馳せるようになりました。諸塚村に暮らす子どもたちは、高校への進学と同時に親元を離れ、遠く離れた寮などでの生活となります。

地元の豊かな森林に触れる機会が少なくなることや、将来の職業を考える時期でもあることから、林業の魅力を伝えるため、中学生を対象に、林研グループの活動内容や森林の役割等の座学授業、林業機械やドローンの操作体験を始めました。

今後も、林業への理解と地元への思いを深め、さらに子どもたちが将来の職業に林業を選択肢の1つとして考えてもらえるようにしたいと活動をしている諸塚林研グループと、自らがお手本となるべく現場で実践し続けているお二人に、諸塚村の輝かしい未来が見えました。

ぎゃあな諸塚! たいぎゃーなこつならなんちゃ〜でくる! (注) 素敵な取材旅。また交流会しましょうね。

注: (諸塚独自の方言の翻訳) ...元気な諸塚! 大概なことはやればできる!

今回は事前に全国各地で活動するグループの皆さんにご当地自慢のたべものを伺ったところ沢山の返答をいただきました。次回に続くテーマとなりそうです。



手作り味噌づくりWS

NPO法人SCRです。地域の豊かな食材と日本の食文化を伝えるには、味噌づくりとばかりに、食育の一環で始めた手作り味噌づくりワークショップの活動を発表。山の恵みを生かすことは環境保全につながり、伝統食は文化の継承に。自慢のたべものは手作りの大変さがものづくりの達成感に。いろんな分野に派生した活動になってます。発表後の意見交換では全国の自慢の食べ物でリモートでも一体感を感じる盛り上がりがありました。

ハイブリッド
(集合・リモート)
開催



イベントのご案内

2024年
11月28日(木)

特別企画「はつらつ林業女性交流会」

今年の秋のはつらつ林業女性交流会のテーマは人が生活していく中で最も重要で身近な食についてです。昔から、それぞれの土地に伝わる山の幸等を使った伝統・保存・非常食をみんなで味わい、楽しみたい、そして次世代へ繋いでいきたいと企画しました。料理研究家の堀江ひろ子先生から「伝統食と家庭料理」というタイトルで講演頂き、その後、テーマ「食べよう、作ろう、先人の知恵～伝統食、保存食、非常食～」の意見交換会で、皆様からそれぞれの土地の伝統食を教えてくださいたいと考えています。大勢参加頂き、楽しく有意義な時間を共有したいと願っています。是非ご参加ください。



堀江ひろ子先生

※別途、通常総会・第28回はつらつ交流会は、2025年2月または3月に実施予定です。

全林研女性会議役員 (任期: 自 令和6年4月1日～至 令和8年3月31日)

こんにちは！新全林研女性会議役員のメンバーです。みなさまと一緒に山の女性の“はつらつ”たる力で森林・林業を盛り上げたいと思っています。よろしくお願いいたします。



代表 坂本ちづる
(石川県・穴水町林業研究会)



副代表 早矢仕恵子
(福島県・ふたばグリーンレディースネットワーク)



副代表 山崎靖代
(東京都・エンジョイ・フォレスト女性林研)



理事 千葉恵美
(宮城県・特定非営利活動法人SCR)



理事 島田陽子
(埼玉県・結木の会)



理事 星野智生
(新潟県・新こじしの森女性の会)



理事 原見知子
(和歌山県・和歌山県林研連女性林研部会)



理事 小田ちはる
(宮城県・美郷町林業研究グループ連絡協議会)

第27回

はつらつ林業女性交流会

令和5年度はつらつ林業女性交流会を令和6年2月22日にオンラインで開催いたしました。画面を介しての交流ではありましたが和やかに、また、皆さんの活動の様子に刺激をいただき実りある会となりました。

※全国林業研究グループ連絡協議会 YouTube (www.youtube.com/@zenrinken) で、令和5年度全林研女性会議総会・はつらつ林業女性交流会をご覧になれます。



林研女性部の活動

空港の植栽にツバキの花を添える

代表講演

穴水町林業研究会〈石川県〉

坂本ちづる

昭和58年穴水林業研究会女性部として発足された会です。長年多くの分野で多くの活動に感服。現代林業の中でも後継者不足の課題でも、新人林業女子の参入から移住まで繋がる事例あり、絆の強さ、地域性の暖かさを感じました。これだけの活動をこなしている研究会でありながら「森の幸」という新しい活動のフィールドを開拓した皆さんの自然の恵みから物産品(アイスや菓子)を生み出し販売活動を行うなど、6次産業の開拓のノウハウをお持ちでお聞きしたい

活動報告

飯と猫と林業女子会〈群馬県〉 田村美恵子

会場のスタートは2022年11月、男性社会である林業の仕事に頑張る女性たちがゆるく集まり楽しくおしゃべりをしましょうという会が原点。メンバーの推しの方を講師に招き研修会を開催されているというユニークなアイデア満載の研修会を報告いただきました。述べているモットー(ゆるく・楽しく・おいしく)の集まりだけ

あつて楽しそう！でもそれだけじゃない。田村氏を筆頭にバリバリ林業業界で活躍されているメンバーの皆さんの行う勉強会はとて魅力的で興味をそそる内容を報告いただきました。日々の業務などでの悩みに寄り添い、林業から離れる人が一人でも少なくなると活動意識されたいとのことでした。



地域のおいしいものを食べながら大好きな猫の話を楽しんでいる

山の恵みと伝統食の自慢のたべもの NPO法人SCR〈宮城県〉 千葉恵美

宮城県のほぼ中心に位置する富谷市を拠点に自然再生や町づくりなどを視点として活動している

令和6年度今後の行事予定等

● 全国がんばる林業高校生表彰

一次応募期間：令和6年9月2日(月)～11月1日(金)

二次審査及び結果：令和7年1月24日(金)(予定) ……▶ 一次審査書面、二次審査オンラインプレゼンテーション

● Forest Creative Women's School

(森林資源を活かした新しいモノ・コトづくりや、事業拡張に挑戦したい女性のためのオンラインスクール)

日時：令和6年9月～令和7年2月の夜間約2時間×10回 ……▶ オンライン講座

● 中央研修会

日時：令和6年11月7日(木) ……▶ オンライン(zoomにて開催)

内容：林業分野におけるドローン技術の活用について、林研グループの中でも先進的に取り組んでいる事例を紹介
詳細につきましては、全林研ホームページをご参照ください。

● 全林研女性会議「秋のはつらつ林業女性交流会」

日時：令和6年11月28日(木)午後 ……▶ 東京都内会議室+オンライン

テーマ：「食べよう、作ろう、先人の知恵～伝統食、保存食、非常食～」

● 全国林業普及研修大会

日時：令和6年11月29日(金) ……▶ 全国町村会館(東京都千代田区永田町)

● 全林研女性会議通常総会・講演(予定)

日時：令和7年2月(予定) ……▶ オンライン

● 全国林業グループコンクール、通常総会

日時：令和7年2月27日(木)・2月28日(金) ……▶ 全国町村会館(東京都千代田区永田町)

令和6年能登半島地震支援金 お礼とご報告

令和6年1月に能登半島を震源とする地震により被災された方々へのご支援を呼びかけましたところ、令和6年9月末で18件約60万円の支援金が集まりました。集まった支援金は基金化し、被災された方々のご要望に適切に対応できるようその使途について、検討してまいります。皆さまの暖かいご支援に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

全国林業研究グループ連絡協議会 会長 齋藤 正

編集後記

この度、緑創第53号の発行を担当いたしました緑創編集委員長で全林研副会長の山口敏男です。緑創に原稿を提供いただいた方々、編集委員になられた方々、そして、女性林研のご協力により、大変良いものが出来上がったと思います。心から感謝申し上げます。緑創では林研会員の皆さま方に色々と話題を提供させていただいております。是非、皆さまでご覧いただければと思います。

林業経営「創意工夫」表彰行事のご案内

大日本山林会では、林業経営「創意工夫」表彰行事の募集を行います。ご応募お待ちしております。

1. 趣旨

林業経営の現場で役立つ技術的な発明や改良のほか、経営の改善に役立つ創意工夫事案を考案した方を顕彰するものです。

2. 表彰の対象となる分野

森林造成・伐採・搬出から女性の活躍まで、広範囲な分野が表彰の対象となります。

3. 参加申込方法

次のいずれかで申し込んでください。

- ① 創意工夫等を考案した個人(団体)からの直接申請
- ② 創意工夫等を考案した個人(団体)の関係者からの推薦

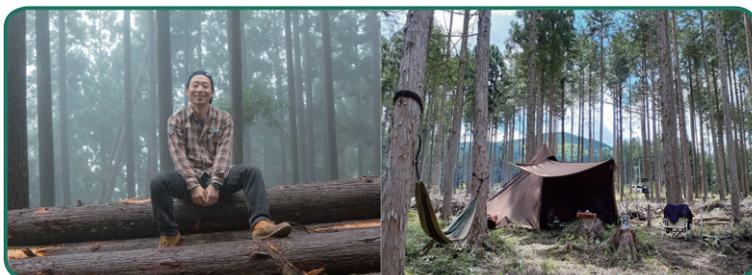
4. 審査・表彰

外部有識者で構成される「審査委員会」で審査を行い、3点以内に絞って大日本山林会会長が表彰します。

5. スケジュール

- ① 参加申込の受付期間 令和6年9月1日～7年1月31日
- ② 審査 令和7年2月～3月
- ③ 表彰(本会定時総会で表彰) 令和7年5～6月

キャンパーに森林をレンタルする「フォレント」(令和5年度優秀賞)



考案者の田口房国さん(株式会社山共代表取締役)と実際の活用例



公益社団法人 大日本山林会

〒100-0011 千代田区内幸町1-2-1 日土地内幸町ビル2階
TEL: 03-3587-2551 E-mail: sanrinkai@sanrinkai.or.jp

※応募方法等、詳しくは山林会ホームページをご覧ください。⇒ URL <https://www.sanrinkai.or.jp/>